

# 2020年産 大麦『ファイバースノウ』栽培こよみ

令和元年 8月  
アルプス農業協同組合  
アルプス農協管内農業技術者協議会

大麦栽培のコツ：👉 早めの排水対策で単収を確保 👉 計画的なブロックローテーションで連作を回避

栽培管理のポイント	9月	10月	11~12月	積雪期間	3月	4月	5月	6月
		★ 播種前の排水対策は確実に	★ 耕起は丁寧に★ 適正播種量で苗立ち確保	★ 排水溝は随時手直しする			★ 赤かび病防除の徹底	

### 発芽・苗立ち確保のポイント 単収向上には初期生育の確保が重要

- 排水対策** → ① 稲刈り後、すぐに排水溝を設置 ② 畦幅は 3m以内
- 土壌改良** → ① 石灰質資材の施用 ② 堆肥の施用
- 適正播種** → ① 10月上旬を中心とした播種 ② 適正な播種量
- 播種後の管理** → ① 雑草防除対策 ② 排水溝の連結点検

### 排水対策

① 水口はしっかり止める ② 額縁排水溝は早めに設置する ③ 排水口は深く掘り下げる

④ サブソイラ等による心土破碎で透水性を改善 ⑤ 播種直後に基幹排水溝を設置 ⑥ 排水溝は確実に連結する

### ポイント② 土づくり・播種

● 土づくり (pH矯正)

- 土壌改良資材を施用し、土壌のpH6以上を確保する
- 深耕により作土深を確保し、根域を拡大させる
- 基準となる基肥量を確実に施用する

★ 施肥の目安 (10a当たり)

施用時期	耕起前	播種時基肥 (下記いずれか)	播種 1ヶ月後	消雪直後 (2月下旬頃)	止葉展開期 (4月上旬頃)
資材名	粒状貝化石 ※ 沖積土壌   150~200kg	○LP大麦48号 45kg	-	- (追肥不要)	-
施肥量	発酵けいふん(粒) 沖積土壌 150kg 洪積土壌 100kg	○ハイマックス 燐加安444 40kg	硫安 20kg	硫安 20kg以内 窒素過多の場合減肥	硫安 10kg以内 生育量等に応じ施用

※ 土壌診断の結果 酸性が強い場合は多めに施用する

● 播種時期に応じ、適正量を播種する

- ① 播種適期は10月上旬
- ② 生育量を確保するため10月中旬までには播種を完了する
- ③ 栽培面積が大きい場合は9月末より乾いた圃場から計画的に播種する

● 播種時期と播種量の目安

播種期	目標苗立数 (本/m)	播種量の目安 (kg/10a)	
		ドリル播	表面散播
9月26~30日	140	6.0	6.5
10月上旬 (10月中旬)	150 (200)	6.5 (8.5)	7.0 (9.0)

※ ドリル播種深度は3cm程度とする

### ポイント③ 雑草防除

● 播種後、速やかに除草剤を散布し、肥料成分が雑草に奪われるのを防ぐ。  
(ただし、表面散播では使用できないので注意する)

【一般的な防除】

除草剤名	使用時期	使用量及び散布液量 (10a当たり)	使用方法	適用雑草
ポクサー	播種後~麦2葉期 (雑草発生前~雑草発生初期)	薬量 500mL・100ℓ 散布量	土壌表面 散布	一年生雑草

【雑草が少ない圃場】

除草剤名	使用時期	使用量及び散布液量 (10a当たり)	使用方法	適用雑草
トレファノサイド乳剤	播種後出芽前 (雑草発生前)	薬量 500mL・100ℓ 散布量	土壌表面 散布	一年生雑草 (ツユクサ、カヤツリグサ、キク、アブラナ科を除く)
トレファノサイド粒剤2.5	播種後出芽前	散布量 4~5kg	土壌表面 散布	一年生雑草

【カラスノエンドウが多い圃場】

時期	対応	除草剤名	使用時期	使用量及び散布液量 (10a当たり)	使用方法	適用雑草
年内	播種後~麦2葉期	リベレーターフロアブル	播種後~麦2葉期 (雑草発生前~イネ科雑草1葉期まで)	薬量 60~80mL 散布量 100ℓ	土壌表面 散布	一年生雑草
	播種後 30~45日	リベレーターG		散布量 4~5kg		
年明け	雑草の発生が見られたら	アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	薬量 100~200mL 散布量 100ℓ	雑草茎葉 散布	畑地一年生 広葉雑草
	収穫前までに	手取り除草				

※ アクチノール乳剤はカラスノエンドウが3葉期を超えないタイミングで1~2回散布しましょう。

### ポイント④ 赤かび病防除

● 適期に2回確実に実施!

回数	施用時期	薬剤名	使用量及び散布液量 (10a当たり)
1回目	穂揃期 (開花始め)	トップジンM粉剤DL	4kg
		トップジンM水和剤	1,000倍 150ℓ
2回目	1回目散布の7日後	ワークアップ粉剤DL	3kg
		ワークアップフロアブル	2,000倍 150ℓ

▲ 赤かび病被害粒

### ポイント⑥ 緑肥作物による地力増進

● 栽培体系と効果

作物	クロタラリア
生育特性	草長 1.5~2m 生草量 4t/10a 程度
播種期	6月上旬~7月上旬
播種量	5~6kg/10a
すき込み時期	普通種: 播種後50~70日 フレールモアで播種後にすき込みます 広葉種: 播種後60~80日
特徴	窒素濃度は高く、土壌中での分解が速いため、肥料としての効果は高い

● 主な緑肥作物

栽培体系: 大麦 (前年9月~当年6月) → クロタラリア (当年6月~9月) → 水稲 (翌年5月~9月)

効果: 大麦跡圃場の雑草とカメムシの発生抑制、緑肥作物による地力回復、緑肥跡の水稲栽培における基肥減肥

※ 麦跡の緑肥栽培はカメムシ等対策により7月上旬までの播種としています。

※ 安全安心な大麦を生産、販売するために『生産記録簿兼 GAP チェックシート』を記帳・提出しましょう。